

AIRCON FILTER



エアコンフィルター（キャビンフィルター）

エアコンフィルターはチリやホコリ、花粉など不純物をキャッチしてエアコン内部の汚れを防ぎ、エアコンの風量と快適な車内を保ちます。

エアコンフィルターの役割

1. エバポレーターの保護

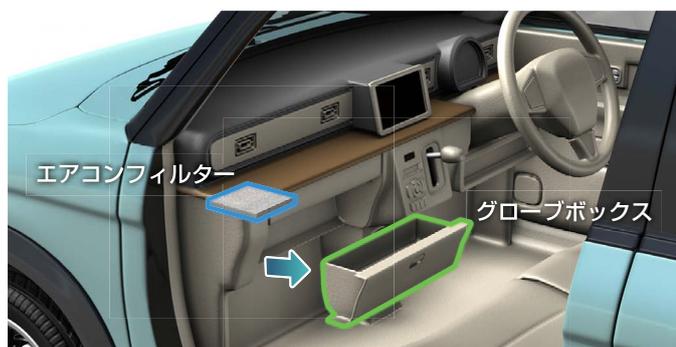
エアコン内部のエバポレーターはクーラー使用時に結露するため、汚れが付着し目詰まりしやすい構造です。エバポレーターが目詰まりすると風量が低下するだけでなく、カビや雑菌が繁殖して悪臭の原因にもなります。1997年頃まではほとんどの車にエアコンフィルターが無く、エアコン使用に伴う風量低下や悪臭が問題でした。エアコンフィルターの役割の一つは、エアコン内に侵入する汚れをキャッチしてエバポレーターの目詰まりを防ぐことです。エアコンフィルターを定期的に交換することでエアコンを長く快適に使うことが可能になります。

2. 快適な車内空間の維持

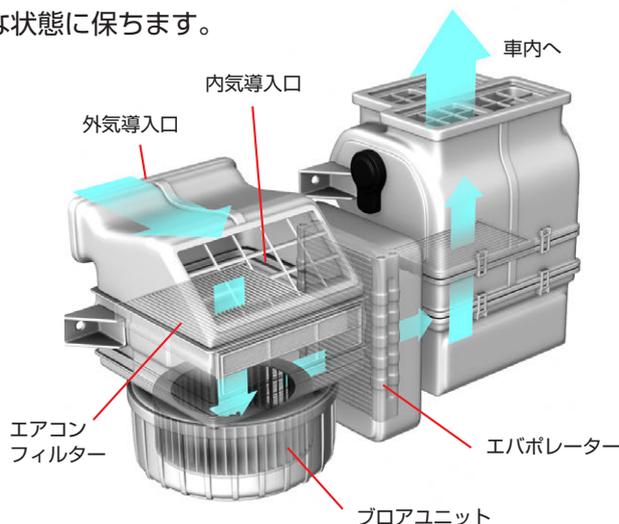
花粉や道路のホコリを取り除き車内空間を快適に保つのがエアコンフィルターのもう一つの役割です。さらに快適な車内空間のため、より価値の高い高付加価値タイプもラインナップされています。車の排気ガスなどイヤな臭いを脱臭したり、PM2.5など微細ダストに対応するもの、菌やカビの発生を抑制する抗菌・防カビタイプなど様々なタイプがあります。

エアコンフィルターの構造

車内に侵入する不純物をキャッチし、エアコンの風を清浄な状態に保ちます。



エアコンフィルターは「助手席グローブボックスの奥」にあります。
※車種により異なる場合があります。



エアコンフィルターの種類

集塵タイプ



集塵濾材がチリやホコリを取り除き、車内に入る空気をクリーンに保ちます。

高付加価値タイプ

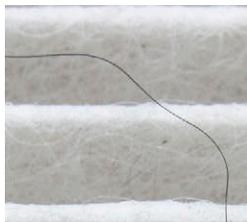


活性炭等でイヤな臭いを低減したり、抗菌防カビ・抗ウイルスなど様々な付加価値が設定されています。

様々なダストに対応

車内のダスト：ダニ・カビ・ホコリ・タバコの煙・髪の毛・体臭・ペット臭など

車外のダスト：花粉・排気ガス・ホコリ・虫の死骸・枯葉・黄砂・PM2.5 など



髪の毛



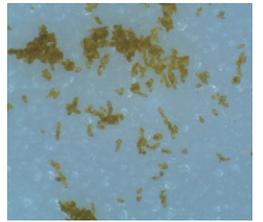
枯れ葉



虫の死骸



ホコリ



花粉

交換しないと？

クーラー・ヒーター・送風に関わりなく風量が減少し、エアコンの効きが悪くなります。

汚れたフィルターがイヤな臭いの原因になります。

窓ガラスが曇りやすくなります。

エアコン効率低下から燃費の悪化につながります。



燃費悪化



窓ガラスの曇り

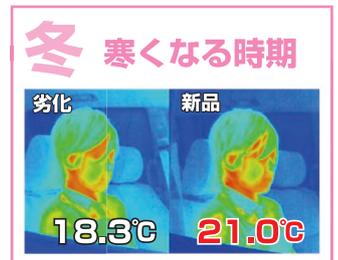
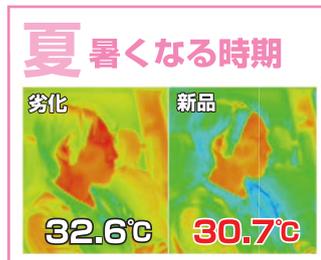


悪臭



風量低下

点検・交換時期(オールシーズン)



定期的な交換が必要

1年毎または10,000~15,000km毎の交換を推奨します。

交換作業例

(参考：普通乗用車の一例)作業時間 約5~10分



ダンパーを解除して両壁を内側に押し



グローブボックスを開く



フィルターカバーを外す



フィルターを引き出す

※車種によっては工具が必要な場合があります。